

疫学（臨床）研究実施についてのお知らせ

大阪市立大学大学院医学研究科
肝胆膵病態内科学

【研究課題名】

診療録を利用した自己免疫性肝・胆道疾患の予後に寄与する因子を探索する研究

【研究期間】

倫理委員会承認後 ～ 2026年12月31日

【研究の意義・目的】

本邦における自己免疫性肝・胆道疾患には、自己免疫性肝炎、原発性胆汁性胆管炎、原発性硬化性胆管炎などがあり、近年増加傾向にある。本研究では、自己免疫性肝・胆道疾患の短期および長期的な予後を検証することで、予後に関係する因子を明らかにし、予後対策を提案する。

【研究の方法】

(1) 研究デザイン

観察研究

(2) 実施方法

当院に通院歴のある自己免疫性肝炎、原発性胆汁性胆管炎、原発性硬化性胆管炎と診断された患者を抽出し、診療録を参照して下記の情報を調査する。継続して通院中の患者については、通常診療の問診ですで得られている病歴について、担当医から確認することもある。

【研究組織】

研究代表者 小塚立蔵

【本研究に関する問い合わせ先】

研究責任者 小塚 立蔵

住所 大阪市阿倍野区旭町 1-4-3

電話 06-6645-3905

FAX 06-6635-0915

E-mail shoukaki-lbp@med.osaka-cu.ac.jp